

# 活動報告書

団体名：NPO相模原こもれび

活動場所	近郊緑地特別保存地区「木もれびの森」活動地	記録者	白川 泰嗣
活動日時	令和6年3月2日（土）9時00分～12時00分	天気	晴れ 7.5℃ 32%
参加者	安達、江成、大塚、小俣、開沼、加藤、黒岩、白川、田中、田村、中尾、西原、平野、三浦		計14名
活動内容	森林保全活動		
使用道具	手鋸、ナタ、ウインチ、けん引ロープ、滑車、クサビ、カケヤ（木槌）		
機器操作者	刈払い機		チェーンソー
	安達、田村、中尾、西原		開沼、白川、平野、三浦
区域	A地区（植生調査地）		
作業内容	①林床整理、②下草刈り、③枯損木の伐木		



作業前



作業後



当NPOの森林保全は、主に手作業で実現している



植生調査地に点在した、伐木後の枯損木

次回の予定：定例活動9:00～  
 3月9日（土）イヌシデ広場集合  
 3月17日（日）イヌシデ広場集合  
 イベント：  
 3月2（土）～3（日）大野台公民館祭り  
 4月20日（土）2024年度通常総会  
 ☆ボランティア募集・経験不問☆  
 第1土曜、2土曜、3日曜、4水曜の中  
 から好きな日の午前に参加可。活動日  
 の朝9:00前に長袖で来て下さい。

報告事項・トピックス  
 ●三度、植生調査地の枯損木の伐木と下草刈りを行った。冬場もなお視界を遮るアズマネザサを主とした下草を刈り取り、落枝を拾い、枯損木を伐木し、見通し良く明るい安全な森となった。大量に発生した材の搬出は人手では困難であるので、重機の使用などについて行政の協力を仰ぎたい。  
 ●発生したギャップについては木もれびの森保全・活用計画に則り、近隣住民や市民参加の森づくりイベントなどを開催して植樹を推進していく。  
 ●次回からは、椎茸のホダ木作りを予定している。間伐材や枯損木の使用できる部分を救済し資源を循環させ、活動資金を得つつ森の恵みを市民へ享受し、二酸化炭素の吸着力に優れる若木への更新を図る。  
 以上